

2020年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年1月31日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社日立物流  
 コード番号 9086 URL <http://www.hitachi-transportssystem.com>  
 代表者（役職名）執行役社長（氏名）中谷 康夫  
 問合せ先責任者（役職名）経営戦略本部 広報部長（氏名）多賀 鉄朗（TEL）03-6263-2803  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		調整後営業利益 *1		EBIT *2		税引前四半期利益		四半期利益		親会社株主に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	510,476	△4.7	25,899	7.6	30,140	9.4	25,851	△3.9	17,080	△7.2	16,252	△6.8
2019年3月期第3四半期	535,838	1.9	24,060	9.9	27,557	9.3	26,894	9.5	18,413	12.5	17,435	12.7

	基本的1株当たり親会社株主に帰属する四半期利益
	円 銭
2020年3月期第3四半期	145.69
2019年3月期第3四半期	156.30

\*1. 当社は、「営業利益」に代え、「調整後営業利益」を連結経営成績に関する指標として用いており、「調整後営業利益＝売上収益－売上原価－販売費及び一般管理費」により算出しています。なお、2020年3月期第3四半期の営業利益は、24,437百万円です。

\*2. EBITは、Earnings Before Interest and Taxesの略で、「EBIT＝税引前四半期利益－受取利息＋支払利息」により算出しています。

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社株主持分	親会社株主持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	874,435	239,725	232,949	26.6
2019年3月期	612,535	228,949	222,346	36.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	19.00	—	21.00	40.00
2020年3月期	—	21.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	22.00	43.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		調整後営業利益		EBIT		税引前当期利益		当期利益		親会社株主に帰属する当期利益		基本的1株当たり親会社株主に帰属する当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	690,000	△2.7	34,000	9.0	40,200	11.1	34,200	△3.0	23,300	△3.0	22,000	△3.4	円 銭 197.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)P.11「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	111,776,714株	2019年3月期	111,776,714株
2020年3月期3Q	227,645株	2019年3月期	227,265株
2020年3月期3Q	111,549,232株	2019年3月期3Q	111,549,690株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料は、決算発表後、速やかに当社Webサイトに掲載する予定です。

・当社は、2020年1月31日にアナリスト・機関投資家向けの電話会議を開催する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下、「当第3四半期」）における連結業績は次のとおりです。

（単位：百万円）

区分	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比
売上収益	535,838	510,476	95%
調整後営業利益	24,060	25,899 [23,378]	108% [97%]
EBIT	27,557	30,140	109%
親会社株主に帰属する四半期利益	17,435	16,252	93%

※[ ]内はIFRS第16号「リース」の適用影響を除いた数値

売上収益は5,104億76百万円（前年同期比5%減）、調整後営業利益は258億99百万円（前年同期比8%増）、EBITは301億40百万円（前年同期比9%増）、親会社株主に帰属する四半期利益は162億52百万円（前年同期比7%減）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

## 【国内物流】

（単位：百万円）

区分	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比
売上収益	324,520	328,237	101%
セグメント利益（調整後営業利益）	16,862	19,495 [17,365]	116% [103%]

当セグメントの売上収益は、自動車関連顧客の取り扱い減少したものの、新規立ち上げ案件の寄与等により、前年同期に比べ1%増加し、3,282億37百万円となりました。

セグメント利益は、増収影響のほか、生産性改善効果とIFRS第16号「リース」の適用等により、前年同期に比べ16%増加し、194億95百万円となりました。

## 【国際物流】

（単位：百万円）

区分	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比
売上収益	196,286	169,067	86%
セグメント利益（調整後営業利益）	5,722	5,389 [5,012]	94% [88%]

当セグメントの売上収益は、フォワーディング事業の取り扱い減少（日新運輸㈱の非連結化影響含む）や為替影響等により、前年同期に比べ14%減少し、1,690億67百万円となりました。

セグメント利益は、減収影響のほか、フォワーディング事業でのリスクを織り込んだことなどにより、前年同期に比べ6%減少し、53億89百万円となりました。

## 【その他（物流周辺事業等）】

（単位：百万円）

区分	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比
売上収益	15,032	13,172	88%
セグメント利益（調整後営業利益）	1,476	1,015 [1,001]	69% [68%]

当セグメントの売上収益は、㈱日立トラベルビューロー（現 ㈱HTB-BCDトラベル）の非連結化影響等により、前年同期に比べ12%減少し、131億72百万円となりました。

セグメント利益は、減収影響等により、前年同期に比べ31%減少し、10億15百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び資本の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産の部合計は、前連結会計年度末に比べ2,619億円増加し、8,744億35百万円となりました。流動資産は、現金及び現金同等物が123億円増加したものの、売上債権及び契約資産が86億33百万円、その他の流動資産が48億93百万円それぞれ減少したことなどにより、6億46百万円減少いたしました。非流動資産は、有形固定資産が318億37百万円減少したものの、使用権資産が2,920億28百万円増加したことなどにより、2,625億46百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末の負債の部合計は、前連結会計年度末に比べ2,511億24百万円増加し、6,347億10百万円となりました。流動負債は、買入債務が71億60百万円減少したものの、リース負債が323億37百万円、その他の金融負債が119億89百万円それぞれ増加したことなどにより、379億89百万円増加いたしました。非流動負債は、長期債務が406億9百万円、その他の金融負債が103億89百万円それぞれ減少したものの、リース負債が2,646億24百万円増加したことなどにより、2,131億35百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末の資本の部合計は、前連結会計年度末に比べ107億76百万円増加し、2,397億25百万円となり、また親会社株主持分比率は前連結会計年度末の36.3%から26.6%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」）の残高は、前連結会計年度末に比べ123億円増加し、1,207億12百万円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期に比べ321億64百万円収入が増加し、541億19百万円の収入となりました。この主な要因は、減価償却費及び無形資産償却費389億66百万円、四半期利益170億80百万円等により資金が増加したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期に比べ45億1百万円支出が減少し、60億33百万円の支出となりました。この主な要因は、有形固定資産及び無形資産の売却46億59百万円による資金の増加と、有形固定資産及び無形資産の取得92億55百万円等により資金が減少したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期に比べ596億7百万円支出が増加し、356億77百万円の支出となりました。この主な要因は、リース負債の返済277億50百万円、配当金の支払46億86百万円等により資金が減少したことによるものです。

なお、当期よりIFRS第16号「リース」を適用しています。（詳細は11ページ参照）

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

グローバル経済においては、保護主義・貿易摩擦の影響や地政学的リスク、自然災害の影響等に引き続き留意する必要があります。また、日本経済、特に物流業界においては、労働力不足やEC市場拡大等の環境下、業界の垣根を超えた競争激化により、経営環境は厳しさを増しております。

このような状況の中、当社グループは、ビジネスコンセプト「LOGISTEED」のもと、多様なパートナーとの協創により、コア領域である物流機能を強化するとともに、さらなる領域拡大へとつながる協創戦略を実行してまいります。

『LOGISTEED』： LOGISTICSと、Exceed、Proceed、Succeed、そしてSpeedを融合した言葉であり、ロジスティクスを超えてビジネスを新しい領域に導いていく意思が込められています。

なお、2019年10月30日に公表した通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向や今後の見通し等を踏まえ、下記のとおり修正しております。

## [通期の連結業績予想]

	売上収益	調整後 営業利益	EBIT	税引前 当期利益	当期利益	親会社株主 に帰属する 当期利益	基本的1株 当たり親会社 株主に帰属 する当期利益
前回発表予想 (A) (2019年10月30日公表)	百万円 700,000	百万円 34,000	百万円 40,200	百万円 34,200	百万円 23,300	百万円 22,000	円 銭 197.22
今回修正予想 (B)	690,000	34,000	40,200	34,200	23,300	22,000	197.22
増減額 (B-A)	△10,000	0	0	0	0	0	—
増減率 ( % )	△1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
(参考) 前期実績 (2019年3月期)	708,831	31,192	36,180	35,246	24,013	22,786	204.27

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

区分	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び現金同等物	108,412	120,712
売上債権及び契約資産	132,544	123,911
棚卸資産	1,145	1,226
その他の金融資産	4,597	5,096
その他の流動資産	11,965	7,072
流動資産合計	258,663	258,017
非流動資産		
持分法で会計処理されている投資	84,009	88,238
有形固定資産	182,400	150,563
使用権資産	—	292,028
のれん	26,212	24,234
無形資産	28,556	25,129
繰延税金資産	8,083	8,533
その他の金融資産	18,241	21,889
その他の非流動資産	6,371	5,804
非流動資産合計	353,872	616,418
資産の部合計	612,535	874,435

(単位：百万円)

区分	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
(負債の部)		
流動負債		
買入債務	54,253	47,093
短期借入金	5,850	4,090
償還期長期債務	5,662	10,450
リース負債	—	32,337
未払法人所得税	3,362	3,726
その他の金融負債	24,886	36,875
その他の流動負債	28,481	25,912
流動負債合計	122,494	160,483
非流動負債		
長期債務	191,198	150,589
リース負債	—	264,624
退職給付に係る負債	32,083	32,191
繰延税金負債	10,712	10,933
その他の金融負債	22,958	12,569
その他の非流動負債	4,141	3,321
非流動負債合計	261,092	474,227
負債の部合計	383,586	634,710
(資本の部)		
親会社株主持分		
資本金	16,803	16,803
利益剰余金	206,245	217,927
その他の包括利益累計額	△520	△1,598
自己株式	△182	△183
親会社株主持分合計	222,346	232,949
非支配持分	6,603	6,776
資本の部合計	228,949	239,725
負債・資本の部合計	612,535	874,435



## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上収益	535,838	510,476
売上原価	△473,511	△446,632
売上総利益	62,327	63,844
販売費及び一般管理費	△38,267	△37,945
調整後営業利益	24,060	25,899
その他の収益	475	3,876
その他の費用	△1,947	△5,338
営業利益	22,588	24,437
金融収益	449	86
金融費用	△988	△205
持分法による投資利益	5,508	5,822
受取利息及び支払利息調整後 税引前四半期利益	27,557	30,140
受取利息	815	936
支払利息	△1,478	△5,225
税引前四半期利益	26,894	25,851
法人所得税費用	△8,481	△8,771
四半期利益	18,413	17,080
四半期利益の帰属		
親会社株主持分	17,435	16,252
非支配持分	978	828

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり親会社株主に帰属する四半期利益		
基本	156.30円	145.69円
希薄化後	—円	—円

要約四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期利益	18,413	17,080
その他の包括利益		
純損益に組み替えられない項目		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動額	△358	176
持分法のその他の包括利益	△33	△76
純損益に組み替えられない項目合計	△391	100
純損益に組み替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,247	△967
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動額	△3	2
持分法のその他の包括利益	△18	△47
純損益に組み替えられる可能性がある 項目合計	△1,268	△1,012
その他の包括利益合計	△1,659	△912
四半期包括利益	16,754	16,168
四半期包括利益の帰属		
親会社株主持分	15,952	15,387
非支配持分	802	781

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位:百万円)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)							
					親会社 株主持分 合計	非支配持分	資本の部 合計
	資本金	利益剰余金	その他の 包括利益 累計額	自己株式			
期首残高	16,803	186,373	1,333	△181	204,328	3,963	208,291
会計方針の変更による 累積的影響額		25			25		25
会計方針の変更を反映した 期首残高	16,803	186,398	1,333	△181	204,353	3,963	208,316
変動額							
四半期利益		17,435			17,435	978	18,413
その他の包括利益			△1,483		△1,483	△176	△1,659
配当金		△4,127			△4,127	△150	△4,277
自己株式の取得及び売却				△1	△1		△1
非支配株主に係る売建プット・ オプション負債の変動等		702	△72		630	△377	253
変動額合計	—	14,010	△1,555	△1	12,454	275	12,729
期末残高	16,803	200,408	△222	△182	216,807	4,238	221,045

(単位:百万円)

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)							
					親会社 株主持分 合計	非支配持分	資本の部 合計
	資本金	利益剰余金	その他の 包括利益 累計額	自己株式			
期首残高	16,803	206,245	△520	△182	222,346	6,603	228,949
変動額							
四半期利益		16,252			16,252	828	17,080
その他の包括利益			△865		△865	△47	△912
非支配持分との取引等		△6	△1		△7	209	202
配当金		△4,686			△4,686	△143	△4,829
利益剰余金への振替		145	△145		—		—
自己株式の取得及び売却				△1	△1		△1
非支配株主に係る売建プット・ オプション負債の変動等		△23	△67		△90	△674	△764
変動額合計	—	11,682	△1,078	△1	10,603	173	10,776
期末残高	16,803	217,927	△1,598	△183	232,949	6,776	239,725

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	18,413	17,080
四半期利益から営業活動による キャッシュ・フローへの調整		
減価償却費及び無形資産償却費	14,232	38,966
減損損失	29	3,978
持分法による投資利益	△5,508	△5,822
事業再編等利益	—	△1,244
法人所得税費用	8,481	8,771
退職給付に係る負債の増減	149	6
受取利息及び受取配当金	△1,221	△1,016
支払利息	1,478	5,225
固定資産売却損益	△11	△1,800
売上債権及び契約資産の増減	3,068	9,464
棚卸資産の増減	363	△82
買入債務の増減	△2,807	△7,270
その他の資産及びその他の負債の増減	△6,855	△4,130
その他	386	653
小計	30,197	62,779
利息及び配当金の受取	3,667	3,629
利息の支払	△1,279	△5,042
法人所得税の支払	△10,630	△7,247
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,955	54,119
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得	△12,308	△9,255
有形固定資産及び無形資産の売却	1,079	4,659
子会社株式の取得	—	△666
子会社への支配喪失による減少	—	△384
その他	695	△387
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,534	△6,033
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減	△1,138	△1,750
長期借入債務による調達	49,749	—
長期借入債務の返済	△11,286	△603
リース負債の返済	△3,608	△27,750
非支配持分からの子会社持分取得	△4,963	△199
配当金の支払	△4,127	△4,686
非支配持分株主への配当金の支払	△150	△143
その他	△547	△546
財務活動によるキャッシュ・フロー	23,930	△35,677
現金及び現金同等物に係る換算差額	△174	△109
現金及び現金同等物の増減	35,177	12,300
現金及び現金同等物の期首残高	63,497	108,412
現金及び現金同等物の期末残高	98,674	120,712

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループは、当連結会計年度より、以下の基準書を経過措置に準拠して適用しており、会計処理の方法の一部を見直しております。

基準書	基準名	新設・改訂の概要
IFRS第16号	リース	リースの定義及び主に借手の会計処理の改訂

IFRS第16号「リース」の適用に伴い、経過措置に従って、前連結会計年度の連結財務諸表の遡及適用を行っておりません。新基準の適用に際しては、契約がリース又はリースを含んだものであるかどうかを適用開始日現在で見直すことを要求されない実務上の便法を適用しております。借手は、IFRS第16号C5項(b)を適用して、比較情報を修正再表示せず、本基準の適用開始の累積的影響を適用開始日(2019年4月1日)に認識する方法を採用しております。適用開始日のリース負債の測定に適用している当社グループの追加借入利率の加重平均は、1.9%であります。前連結会計年度末においてIAS第17号を適用した解約不能のオペレーティング・リース契約と、適用開始日において要約四半期連結財政状態計算書に認識したリース負債の調整表は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

解約不能オペレーティング・リース契約 (2019年3月31日)	97,068
ファイナンス・リース債務 (2019年3月31日)	35,270
延長オプションの見積りの見直し等	184,156
2019年4月1日現在のリース負債	316,494

IFRS第16号の適用に伴い、適用開始日において、使用権資産277,222百万円及びリース負債281,224百万円を追加認識しております。

なお、当社グループは、IAS第17号のもとでオペレーティング・リースに分類されていたリースにIFRS第16号を適用する際に、以下の実務上の便法を使用しております。

- ・特性が合理的に類似したリースのポートフォリオに単一の割引率を適用
- ・減損レビューを実施することの代替として、リースが適用開始日直前においてIAS第37号「引当金、偶発負債及び偶発資産」を適用して不利であるかどうかの評価に依拠
- ・当初直接コストを適用開始日現在の使用権資産の測定から除外

IFRS第16号の適用により、要約四半期連結財政状態計算書において、従来、「有形固定資産」として報告していたファイナンス・リース資産は、「使用権資産」として独立掲記しており、「償還期長期債務」及び「長期債務」として報告していたリース債務は、「リース負債」として独立掲記しております。また、要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、従来オペレーティング・リースのリース料の支払が営業活動に関するキャッシュ・フローに含まれていたのに対し、主に使用権資産の減価償却費に係る調整が営業活動に関するキャッシュ・フローに含まれ、リース負債の支払が財務活動に関するキャッシュ・フローに含まれることにより、IAS第17号を適用した場合と比較して、営業活動に関するキャッシュ・フローの収入が増加し、財務活動に関するキャッシュ・フローの支出が増加しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	要約四半期 連結財務 諸表計上額
	国内物流	国際物流	計				
売上収益							
外部顧客への売上収益	324,520	196,286	520,806	15,032	535,838	—	535,838
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	—	—	—	8,741	8,741	△8,741	—
計	324,520	196,286	520,806	23,773	544,579	△8,741	535,838
セグメント利益	16,862	5,722	22,584	1,476	24,060	—	24,060
その他の収益							475
その他の費用							△1,947
金融収益							449
金融費用							△988
持分法による投資利益							5,508
受取利息							815
支払利息							△1,478
税引前四半期利益							26,894

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、情報システム開発、自動車販売・整備、旅行代理店業等を含んでおります。

2 親会社の管理部門に係る費用等の事業セグメントに帰属しない全社費用は、合理的な基準に基づき各事業セグメントへ配分しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	要約四半期 連結財務 諸表計上額
	国内物流	国際物流	計				
売上収益							
外部顧客への売上収益	328,237	169,067	497,304	13,172	510,476	—	510,476
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	—	—	—	10,195	10,195	△10,195	—
計	328,237	169,067	497,304	23,367	520,671	△10,195	510,476
セグメント利益	19,495	5,389	24,884	1,015	25,899	—	25,899
その他の収益							3,876
その他の費用							△5,338
金融収益							86
金融費用							△205
持分法による投資利益							5,822
受取利息							936
支払利息							△5,225
税引前四半期利益							25,851

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、情報システム開発、自動車販売・整備、旅行代理店業等を含んでおります。

2 親会社の管理部門に係る費用等の事業セグメントに帰属しない全社費用は、合理的な基準に基づき各事業セグメントへ配分しております。